

**令和7年度 日本赤十字北海道看護大学同窓会
第14回総会（ハイブリット形式）議事録**

日時:令和7年6月21日(土)11:00~11:30

場所:日本赤十字北海道看護大学 管理・研究棟2階 大学院講義3

参加者:17名（名誉会長、顧問、会長、副会長、評議員3名、監事1名、事務局7名、Zoom 参加2名）

総会議案書 総会次第に沿って進められた。

1. 開会の辞

事務局長より、開会の挨拶、現在の会員数（総会議案書 p.2）、議案への回答数について報告された。

また、会則第5章 第16条に基づき、本総会が出席者の 2/3 以上の同意によって決すること、名前の記載がない場合は会長に委任したものとする、総会の出欠について連絡なき場合はその権利を放棄したものとみなすことに基づき、決議を図っていくことについて説明された。

2. 会長挨拶

黒森会長より挨拶があった。

3. 名誉会長挨拶

安酸名誉会長より挨拶があった。

4. 議長選出

立候補も申し出がなかったため、事務局より坂野遼氏を推薦し、選出された。

5. 活動報告

1) 会員数

開会の辞で報告されたため割愛された（総会議案書 p.2 会員数を参照）。

2) 令和6年度活動報告

議案書にもとづき、事務局長より報告され、質問や意見等はなかった。

3) 令和6年度決算報告

議案書にもとづき、会計より報告された。また、監事より会計監査が報告された。

6. 各議案審議

1) 令和7年度活動計画

議案書にもとづき、事務局長より説明された。

2) 令和7年度予算案

議案書にもとづき、会計より説明された。

- 1) および2) に対し、出席者から、一般および特別会計を合わせて残高が1千万円以上あることに対して、母校への協力や卒業生への還元等、今後の予定について質問があった。事務局からは、入学生が減

少傾向にあることから、今後の残高は目減りすることを予測するが、大学および同窓会の発展のため、活度内容の検討をしていくことの説明があった。参加者からは大学のイベントへの支出、寄付などの検討についての提案があり、顧問からは、開学30周年行事がおこなわれる予定であるため、母校へ協力することの提案があった。このことから、周年行事に向けて、協力内容等を検討していくこととなった。これらの審議を経て、活動計画案および予算案は承認された。

3) 令和7年度役員選出

総会会場から、立候補および推薦者はいなかった。議案書に記載された各役員が承認された。

4) その他

- ・夜の同窓会について、現地+オンラインのハイブリット開催の提案があった。次年度の検討事案とする。
- ・保健師同窓生交流会は次回8月30日に札幌市で開催予定であることが報告された。

文責 須田

第 14 回日本赤十字北海道看護大学同窓会総会

事前回答の結果

I. 回答率

住所が判明している 1003 名に配付し 179 名（前年より+57 名）から回答があった（回答率 17.8%,前年から+5.6%）。

II. 各議案に対する回答

1. 第 1 号議案 令和 6 年度活動計画案について

「承認します」 167 名（99.4%）、「承認しません」 1 名（0.6%）、無回答 12 名。

2. 第 2 号議案 令和 6 年度予算案について

「承認します」 165 名（99.4%）、「承認しません」 1 名（0.6%）、無回答 14 名。

3. 第 3 号議案 役員選出について

「承認します」 166 名（99.4%）、「承認しません」 1 名（0.6%）、無回答 13 名。

III. その他

各議案に対する意見等や、ホームカミングデーに関する希望する内容等の自由記載はなかった。

IV. 出席予定者

- ・ 現地参加者 17 名（名誉会長、顧問、役員 5 名、事務局 8 名含む）
- ・ Zoom 参加者 2 名